

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進		
施策のねらい (めざす姿)	地域ぐるみで子育てできる環境の中で、子どもが健やかに育っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	マネージャー氏名	斉藤 薫

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	待機児童対策の実施、地域での子育て支援など施策の充実に向けた取組を推進していく。	③改革・改善内容	平成27年4月からスタートする子ども・子育て支援新制度の実施に向け、平成26年度に策定した「鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画」等に基づき、子育て支援策を実施していく必要がある。
②①に基づく取組み結果	待機児童対策の継続、地域での子育て支援事業の実施、子ども医療費の拡充等の取組を実施した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	18歳までの児童とその家庭	意図(対象をどうするのか)	子どもとその家庭が社会全体で支援されている。
②施策の概要	社会全体で子育てを支えるため、待機児童対策の継続、地域の子育て支援策の実施、子ども医療費の拡大等様々な子育て支援策を実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急速な少子化の進行、家庭・地域等子育てを取り巻く環境の変化に対応するため平成27年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートした。これにより質の高い教育・保育の提供、待機児童対策の継続、地域の子ども・子育て支援策の充実に取り組んでいかなければならない。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	平成25年度:民間・公立保育園の定員拡大、家庭的保育事業の拡大、つどいの広場事業拡大 平成26年度:民間保育園整備、小規模保育事業整備、つどいの広場事業拡大、子ども医療費拡大						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	合計特殊出生率	人	1.38	1.33	調査中	1.34
	ii	保育所待機児童数	人	58	45	21	0
	iii	就学前人口に対する保育所入所率	%	16.2	17.2	18.6	16.5
③基本事業成果指標	i	家庭児童相談室受付件数	件	3,078	5,592	6,260	2,750
	ii	保育所定員数	人	875	999	1,210	1,319
	iii	ひとり親世帯等医療費等助成受給資格者数	人	1,925	2,026	1,873	
	iv	ファミリーサポートセンター利用件数	件	2,159	1,859	1,718	2,265
	v	児童センター利用者数	人	113,813	108,072	118,164	120,000
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)		平成27年度予算		
事業費(千円)	3,411,286	3,769,384	(単位:円) 34,696 円		3,739,017		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成27年度から「鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画」等に基づき待機児童対策の継続、様々な子育て支援策を実施していくが、市の一般財源の負担増が課題である。また、計画の実施において実施・評価・改善を図る推進体制の構築が必要である。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	待機児童は平成27年4月に解消したが、その後発生している状況であることから引き続き解消策を継続しなければならない。また、他の子育て支援策についても更なる質の向上を図っていかなければならない。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	民間保育所整備助成事業		
④上記方向性の説明	子育て支援策の拡充は市の重点施策であり、その充実により子育て世代にとって魅力ある街づくりを進めていくことが必要である。		